

クローズアップ NGO・NPO

中国国際交流協会
秘書長 倪 健

民間外交を重視し、世界の平和維持に貢献

我々は、現在、国際構造の大きな調整に直面しています。世界の多極化、経済のグローバル化は深化し、文化の多様化、社会の情報化は日増しに進展しており、各国間の相互依存関係は途絶えることなく深まる一方、内政と外交の関係はより密接になり、その境目が曖昧になってきています。こうした背景の下、外交の担い手が多様化し、特に非政府組織は、国際関係における重要な担い手として成長しており、世論形成や資源配分等多方面で益々重要な役割を發揮するようになり、各国の内政と外交および政策決定に大きな影響を与えています。その中で、いかに民間組織に外交で役割を担わせるか、いかに中国の民間の声をしっかり外交に反映させ、外交の舞台で中国の発言力を高めるかということは、中国国際交流協会を含む中国の民間組織が外交活動を展開する上での重要な課題の一つになっています。

中国外交の新たな変化

近年、中国の外交は、国民レベルに働きかけていく公共外交のウェイトが高まり、それにつれ民間の役割が日増しに高まり、多面的、立体的な構造が形成されつつあります。

1. 政府主導から官民一体へシフト

従来、外交は政府主導であり、民間の関与があるとしても、その役割は限られたものでした。しかし、中国の対外開放が進展するにつれ、多くの企業や民間団体および個人が外交に関わるようになりました。完全に政府主導という従来の外交モデルが、多様なリスクと試練の全てに対応できる

わけでないのは明らかであり、民間組織の特徴と優位性が政府外交の不足と限界を補完するのです。中国の外交は政府主導型から官民一体型へと構造転換をしています。

2. 外交は外交官主導型から社会各界の民間の人々による共同参画型へ

中国の外交業務は長きにわたり外交官が担っていました。外交の政府主導型から官民一体型へのシフト、特に公共外交と民間外交の進展に伴い、外交官主導型から各界の人々の共同参画型になりました。これにより、外交資源が増え、外交の場がさらに拡大しています。

3. 外交分野の絶えざる拡大

新しい時代の外交は、内容が質、量とも拡大する一方、専門化と細分化がさらに顕著になっています。こうしたことが、政府以外の外交主体、特に民間組織に二国間あるいは多国間の交流や協力等の外交業務に参画し、その役割を果たすための舞台を提供しているのです。

中国の外交の中の民間組織

1. 中国の民間組織が外交の中で果たす役割

民間組織はいまや、公共外交と民間外交を展開する主な担い手、立体的な外交の重要な担い手として、中国外交の中で益々重要かつ特徴的な役割を果たすようになってきています。

① 国家利益を維持し、世界に中国を理解させるための役割を果たす

グローバル化と対外開放の進展に伴い、中国は諸外国とさまざまな分野で交流、協力が増えつつ

ある一方、矛盾と問題を生じることもあります。そのような場合、政府外交だけでは、新しい状況と試練に対応できないことがあります。しかし、柔軟で多様な民間組織の活動は、政府外交と互いに作用し合い、補完し合います。このため民間組織は自身の権益と利益を維持しつつ、負うべき責任を負い、果たすべき役割を担って、国家利益を維持することができるのです。民間組織が「世界に中国を理解させ、中国が世界を理解する」というテーマを掲げ、積極的にその役割を果たし、客観的かつ正確に中国全体の情報と人々の声を発信してこそ、本当の中国を国際社会にアピールできるのです。

②国家間の関係発展のため、民意と社会的基盤を固めて良好な国際環境と機運を醸成

「国と国の付き合いは国民同士の親しみから、国民同士の親しみは心のつながりから」と言われているように、国民間の友好が国家間の友好の礎です。民間組織がその特有の立場で諸外国の人々とコミュニケーションを取り、相手の本当の考えと要求をお互いに了解することで、また、明確な目的をもって交流と協力を行うことで理解と信頼を高めることができ、国民同士の交流を促進することができます。国家間の関係が困難な局面に陥った時、まず民間の力が局面を打開し、国家間で生じた問題と矛盾を取り除くことができます。

③地球規模の問題解決に参加する

近年、中国の民間組織は、貧困救助・貧困地域開発、気候変動、持続可能な発展、環境保護等グローバルな問題解決に積極的に関わり、国連等関係機関が提唱するグローバル外交の進展に協力してきました。昨年のリオ+20サミットの席上、中国国際交流協会を含む中国の関係民間組織は、国連と関係国間の民間レベルでの協議に積極的に協力し、中国が地球規模の問題解決に参画する立場と希望を表明し、各国から中国の関係施策に対し理解と賛同を深めることができました。

④国際関係の民主化を推進

中国は国際関係の民主化という立場を一貫して堅持してきました。国際関係の民主化とは、各国

は国家の規模の大小、貧富、強弱を問わず平等な一員であるということが大前提とし、国際的な問題を各国間で平等に協議するということです。民間組織は討論に積極的に関与し、人々に広く国際問題に関与するよう働きかけ、国際世論に影響を与えることができ、国際関係の民主化を推進することができます。

2. 中国の民間組織の外交分野での今後の発展性

民間組織は既に中国外交の重要な担い手となっており、恒久的な平和、共存共栄できる調和の取れた世界を構築するプロセスにおいて、力を発揮するでしょう。そのためのこれからの発展の方向性としては、以下の四点が挙げられます。

- ①規模と数がさらに拡大し、活動が一層広がる
- ②「海外への進出、海外からの誘致」は常態化する
- ③政府外交との連携が一層緊密になる
- ④専門性が一層高まり、より多くの人々が参画するようになる

民間外交の根本は人と人の交流です。中国国際交流協会の今後の重要な仕事の一つは、民間レベルでの「理解と協力」を一層増進させ、国家間の友好関係を促進することに力を入れ、アジアひいては世界の平和に貢献することです。

執筆者略歴

1962年10月、中国上海市生まれ。1984年6月に、北京第二外国語学院アジア・アフリカ語学部日本語学科卒業。1984年7月に、中華全国青年連合会（略称：全国青連）国際部就職。1986年4月から1987年3月、全国青連国際部から派遣、日本創価大学留学。1987年4月、全国青連国際部に復職。1993年12月から2011年4月、中国共産主義青年団中央国際連絡部に、副処長、



処長、副部長、部長など歴任。また、全国青連国際部長、副秘書長、主席補佐などを兼任。中国共産主義青年団第16回中央委員会常務委員、全国青連第11回全国委員会常務委員。2011年4月、中国国際交流協会副秘書長。2011年11月から現在、中国国際交流協会常務理事、秘書長。

倪 健